

NPO法人女性医療ネットワーク

マンマチアー（Mamma Cheer）委員会 ～私たちは乳房の健康を応援します

第125回チアー活動のご案内

★新型コロナウイルス状況下により、ZOOM開催。参加枠を200名に広げました

心機一転、スタート月でもある4月のチアー活動は、

がん治療の基礎知識として、これだけは知っておいてほしい

「がん薬物療法が優れている根拠」について取り上げます。

ご存じの通り、がん医療の世界では日進月歩の勢いで新薬の開発が進んでいます。

その一方で、抗がん剤への誤解が蔓延していて、

必要な治療を避けてしまう人が少なからずいるのが現状。

それは、信頼の置けるがん治療の情報に出会えていないことが一因ではないでしょうか。

そこで今回、このテーマの解説に最もふさわしい講師として、

抗がん剤治療のパイオニア、腫瘍内科医の勝俣範之先生にお願いしました。

勝俣先生は「がん薬物療法」の医療ガイドラインを日本で初めて作成した医師でもあります。

Zoom開催の申し込み受付開始は4月2日（金）19時からです。

申し込み方法は下記にあります。どうぞお早目に申し込みください。

このメールへの返信では、申し込みできませんのでご注意ください。

#### 【第125回 チアー活動】

■テーマ：「～なぜ抗がん剤は必要？ 標準治療が最高の根拠は？ これであなとも納得できます

がんの治療薬が承認されるまで」

■スピーカー：勝俣範之先生（日本大学武蔵小杉病院 腫瘍内科教授）

■日時：2021年4月26日（月）18時半～20時（ZOOMによるオンライン開催）

（参加費無料 お申込み先着200名様 ☆今回から募集枠を広げました！）

■内容：がんの知識が少ない患者にとって、がん治療を受け入れることは容易ではありません。

乳がんならば「乳房を切りたくない」「女性ホルモンを止めたくない」「抗がん剤は受けたくない」

と様々な葛藤が生まれます。しかし大切な命を守るために、治療は避けて通れません。

その治療の第一選択にあるのが、世界基準で最も有効とされる「標準治療」です。標準治療には、手術、放射線、薬物療法の三大治療（+緩和療法）があります。ところが、巷には「抗がん剤は悪」「抗がん剤をしないでがんを治す」といったような、患者を惑わす謳い文句を掲げる民間療法が複数存在しています。がんになったら必ず抗がん剤をするわけではありませんが、勝俣先生は「抗がん剤が必要な人が、うつけられた誤解から治療の開始を遅らせ、命にかかわるケースが後を絶ちません」とおっしゃいます。一見すごく良さそうで、じつは怪しい「トンデモ医療」を見極めるには、なぜ標準治療が優れているのか、その根拠を知ることが大切です。

今回、改めて知っていただきたいのは、現在標準治療として使われているがん治療薬は、多くの研究者と患者の協力により、高いエビデンス(科学的根拠)が得られたほんの一握りの薬剤だけが標準治療として承認されている、そのプロセスです。もちろん、標準治療だけがすべてではなく、自分の大切にしていることを医師に伝えて治療方針を決めるアレンジは大いにあります。ただ、怪しい治療にもよく出てくる「エビデンス」にもレベルがあって、エビデンスがある=良い治療ではありません。患者をまどわす「トンデモ医療」撲滅のため、長年啓発活動をされてきた勝俣先生から、**トンデモ医療と正しい医療の見極め方**についても解説していただきます。また、乳がんを中心に最近の新薬の動向にも触れていただきます。知識があれば、自信をもって治療に進むことができ、玉石混合の情報に迷う人に正しい助言ができます。ぜひご参加ください。

### 【勝俣範之（かつまたのりゆき）先生 ご紹介】

日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科教授。外来化学療法室室長。富山大学(現)医学部卒業後、国立がん研究センター中央病院レジデント。同病院に日本初の腫瘍内科を立ち上げ、薬物療法部薬物療法室 室長を経て現職に。緩和ケアにも精通する。2020年1月から放映された連続ドラマ腫瘍内科の世界を描いた連ドラ『アライブ がん専門医のカルテ』では企画協力医として参加。ミュージシャンとしての顔も持つ。著書に『「抗がん剤は効かない」の罪』（毎日新聞社）『最高のがん治療』共著(ダイヤモンド社)などがある。

勝俣先生の医療の取り組みや信条が取材された以下の記事は必見です！

「ドクターズマガジン 2021年2月号掲載」<https://bit.ly/3dgzwGh>

## ■ZOOM 参加お申し込み方法（先着 200 名様 参加費無料）

\*これまで初回募集枠を 100 名としておりましたが、毎回 100 名を大幅に超えるお申し込みがあり、

なかにはキャンセル待ちが出るならば自分よりも情報が必要な方にお譲りしたいと、申し込みをご遠慮される方々がいらっしゃいました。そのお気持ちにお応えし、より多くの方にご参加いただけるよう、今回より募集枠を 200 名に広げました。どうぞ遠慮なくお申し込みください。

以下から申し込みいただけましたら、開催前日までに ZOOM の URL をお送りいたします。

<お申込み URL> <https://mammacheer125.peatix.com>

パスワードは不要です

<申込スタート日時> 4月2日（金）19時から

このメールへの返信では、申し込みできませんのでご注意ください。

●Peatix からお申し込み時には、PC メール【[@gmail.com](mailto:)】を受取ることのできるメールアドレスと姓名（ニックネームではなく）での参加登録をお願いいたします。メールがエラーで戻ってきた方が数名いらっしゃいますので、どうぞ、お気を付けください。

## ■今後の開催予定

第 126 回 2021 年 5 月 31 日（月）「（仮）子宮頸がん検診と HPV ワクチン」

宮城悦子先生（横浜市立大学医学部産婦人科学教授）

第 127 回 2021 年 6 月 30 日（水）「（仮）女性ホルモンとメンタル」

小野陽子先生（産婦人科医、心療内科医）ハワイより生中継

・今後の予定や開催方法はその都度、登録されている方はメールと、マンマチアアの Facebook などでご案内させていただきます。

●諸事情により、急遽変更があった場合、申し込み者の方にメールおよび Facebook にてご連絡させていただきます。

●“チア活動”は乳がんを体験した、していないにかかわらず、どなたでも参加できます。男性や学生さんの参加、応援も大歓迎。

●「マンマチアア（Mamma Cheer）委員会」について

NPO 法人女性医療ネットワーク「マンマチアア（Mamma Cheer）委員会」は、乳がんを体験し、NPO 法人 CNJ 認定乳がん体験者コーディネーターである美容ジャーナリスト・山崎多賀子、女性医療ジャーナリスト・増田美加が主宰・企画しさまざまな活動を行っています。

す。アドバイザーとして対馬ルリ子（対馬ルリ子女性ライフクリニック院長）、片岡明美（乳腺外科医）、2人の医師も加わっています。

\* マンマチアーは、無料開催にあたり、ボランティアで行っております。

● この会は NPO 法人女性医療ネットワーク「ジョイラボ」講座のひとつになっています。

例年よりも早い桜の開花で、あたり一面春一色。薄手のコートに衣替えすると、身も心も軽やかな気分になりますね。今年もお花見宴会は自粛ですが、お散歩で五感を開放させて、たっぷり春を満喫しましょう。

画面越しですがみなさまと繋がれることを楽しみにしております。

マンマチアー委員会